



MVP になれるかも

大谷翔平選手がアメリカのメジャーリーグでMVPとなりました。それも満票での受賞です。投げて、打って、走る、そのすべてにおいて常識を破る活躍を見せてくれたと同時にその人間性にも高い評価が寄せられています。

ところでこのMVPという言葉はMost（最も）Valuable（価値のある）Player（選手）の略語ですが、ここには中1と中2で習う英語のエッセンスが詰まっています。この2年間で学ぶ英文法と単語はその後の高校・大学・社会で英語と向き合う時のすべての基礎になることです。高校入試においても中2で習う文法が出題される割合は中3よりもむしろ多いくらいです。まずmostは中2の比較級・最上級のところで習います。絶対に覚えておきましょう。また接尾語の「~able（~できる）」や「~er（~する人）」を理解しておけば単語を覚える時にとっても役立ちます。これは中1に出てくる単語でも例がたくさんあります。例えばteach（教える）にerが付けばteacher（教える人＝先生）となります。英検対策などでも説明するのですが、英単語を別々に一つずつ覚えるのではなく覚えている単語と関連させて増やしていけば楽なのです。そこに気づくかどうかで英語を楽しく学習できるかにも影響してきます。楽しくなったらもっといろいろな単語を覚えたいくなるかもしれません。また外来語として身近なカタカナ言葉の語源が英語なのかそれともフランス語やオランダ語なのかも調べてみるとおもしろいでしょう。今ならネットで気軽に探し出すことができます。そしてそれが英語だったら、もとの意味がどういうふうに日本で使われるようになったか想像してみてください。このようにちょっとした意識の変化でバージョンアップした自分が見えてきませんか。

MVPの意味をちょっとだけ変えてMore Valuable Person“昨日までの自分よりもっとステキな人になる”と考えたら、みんながなれる可能性を持っているということです。みなさん自身がそれぞれにMVPになればいいですね。